

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年9月6日（木） 午後7時1分～8時35分
会 場 学園分館（学園町会）

参加者 46人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆災害時の被害をどの程度として予想しているのか。この街は火災に弱く、倒壊後の火災が予想される。この地区は家も古く、また、道が狭い。緊急車両や消防車が入れない恐れがある。市としてどのように考えているのか。
- ☆この地区は木造住宅地で、昭和42年頃から住み始めて、長い方では45年位住んでいる方もいると聞いたが、一番怖いのは火災です。ここで地域防災計画の見直しをしているが、従来のものは平成19年の埼玉県による想定調査を基に作成しています。最大で震度6弱と想定し、本市では全壊23棟、半壊453棟、死者1人から2人、負傷者57人から82人、断水47,000人、1日後に避難所生活となる人が11,363人、帰宅困難者21,188人、焼失数0棟となっている。しかし、有り得ない予想で、現在国で見直しを実施しており、今年冬頃に県に伝達され、本市には来年度中には示される予定です。震度計が市役所にあり、県から気象庁に震度が伝わるが、この地域は地盤がよいからなのか震度が低い傾向にある。緊急車両については、実際に災害時に各地で火災が発生した場合、消防署の車両数にも限りがあるので、来られないと思っていた方がよい。災害はいつ来るかわからない、平日か土日か、昼か夜か深夜か、冬か夏かもしれない。例えば、冬の北風が吹いている夕食時であればゲリラ的に火災が発生します。水道管が壊れていれば消防車が来ても水が出ない。現在、水道管を耐震性のダクタイル管に交換しているが、その前に地震が来るかもしれない。災害が発生した時には、煙の上がっている避難所方面に逃げるのではなく、まずは、安全な空き地や畑などに逃げてほしい。それから、共助として近所のお年寄りなどを助けてほしい。1人では無理でも、数人いれば助けることができる。それから、避難所に行ってもらいたい。また、皆さんは自宅で被災することを前提に考えていると思いますが、外出先や買い物中かもしれない。重要なことは、まずは身の安全を確保すること。常に最悪の状態を頭の中に入れて危機意識を持ってほしい。
- ◆避難場所が西原小となっているが、関越の下を通ることとなり、また、配水塔前の道は狭く車の通りも激しく危険、年寄りも多い。そのため、文京学院大学のグラウンドがあるので、そこを使用できるようにしてほしい。
- ◆文京学園大学は、私学であり、私有財産となるので、有料でもよいので例えば

3日間位は借りられるなどの協定を結んでほしい。

☆文京学院大学とはすでに地域貢献としてグラウンドを避難場所として協定を結んでいる。

◆雨、風が避けられるように文京学院大学の一部教室を使用できるようにしてほしい。

☆それも含めて詰めた話をしたい。

◆災害時には、東上線はストップし、道路は陥没し、国道254号線も緊急車両が優先されるのではないか。

☆関越が崩壊すると西原小に行くことは困難になるが、ネクスポ東日本からは、関越下のコンクリートのトンネルは震度6弱でも耐えられるとの報告を受けている。しかし、土手の盛土をした部分がどうなるのかが課題。

現在、ビバホームなどの大型店とも災害に関する協定を進めている。

先程の文京学院大学については、校舎や体育館の使用についても交渉していきたい。また、市内で未だ避難所として指定していない公共施設についても避難所として指定していきます。食糧については、72時間、3日間の確保が必要で、1日2食の想定で1日分は市、1日分は県、そして1日は皆さんの家庭で確保してほしい。皆さんには、お米が空になる前に補充するようにしてほしい。大宮に自衛隊があり、そこの32普通科連隊が災害時にふじみ野市を担当するが、この間、連隊長と話をする機会があり、荒川の橋が壊れた場合どうするのか聞いたところ、橋が壊れても必ず救援に行くと言っていた。

◆家から200m離れた場所に配水塔があるが、地震で破損した場合には、津波のようなことが起こるのではないか。また、裏には関越が通っており、泥を積んだだけなので崩れた場合に被害がでるのではないか。対策は。

☆配水塔は耐震性があり、想定し得る限りのものには耐え得る。しかし、問題は、関越の泥や道路のコンクリート面が崩れてきて配水塔に被害が出ること。

◆被害が出ると給水もできなくなるので、対策をしてほしい。

☆どの位の強度かは改めて確認をしてみます。

◆市報にも安全である旨記載してほしい。

☆わかりました。

◆配水塔の耐震性については、できれば耐える震度はガル値でお願いしたい。

◆災害時に職員が1時間以内に本庁か大井総合支所に何%来られるのか。

☆状況により変わるが、平時の参集訓練では、1時間以内に6割が集まった。ただし、緊急時には、自分の家族を守る必要などもあり、実際には難しい部分もある。この間の職員の参集訓練では3時間半で約90%が集まった。

◆一番大切なことは、正しい情報を得ること。行政や各自治会、防災組織が頼りになる。

☆勤務時間外に災害が発生した場合には、指定職員が市役所には来ないで担当する避難所に直接行くことになっている。市では衛星電話を購入し、支所と本庁

舎に置き、私が遠隔地に行っていても連絡が取れる状態になっている。また、全避難所にはＩＰ電話を設置していきます。

- ◆ジャパンホームセンターが閉店した現在は、暗くて怖い。また、亀居保育所も閉まると暗いのでなんとかしてほしい。また、文京学園大学のグラウンドは、鍵がかかっているのもので、その対応もお願いしたい。

☆緊急時には鍵を壊すことも視野に入れ、壊す道具なども検討したい。また、指定職員や自主防災組織の方が敷地内に入れるように話をしたい。電気の問題は難しい。夜中に災害が発生した場合には、真っ暗になる。所々の防犯灯が非常時にはバッテリーで点くようになるものができるとういと思っているが、まだ対応はできていない。

- ◆小型の発電機は用意してあるのかどうか。

☆避難所と公共施設には、ＩＰ電話を導入する計画で、ガスボンベ式の携帯用発電機を導入しＩＰ電話の電気を確保します。また、避難所用の投光機は用意してあります。

- ◆災害時に市の連絡網はまずは県庁になるのか、大宮の自衛隊になるのか。

☆自衛隊の派遣要請は、県知事の権限なので、県と連絡をとるようになる。また、現在、市と県が連絡をとれるように結ばれている。

- ◆災害時に東京の被害が甚大の場合、自衛隊は東京に救援に行くのでないか。

☆国家機能を守るべきものに対しては、其れ相応の部隊があり、対応を考えているので、担当の自衛隊はこちらに来说っている。そこで大切なことは、災害発生時の初動では公助は１割であり、いざとなった時には、近所の人が一番頼りになるので、地域力を高めてほしい。東日本大震災では、自衛隊でさえもなかなか現地に行けなかった。最悪の状態を想定する必要がある。

- ◆市は、空家対策をしているが、元ジャパンホームセンターは建物の耐震性があると思うので、一時避難所に使用できるように、地権者の人と交渉してほしい。

☆その後に活用ができない理由の一つに暫定逆線引きの白地で調整区域になり、利用が制限されていることがある。

- ◆三芳町、富士見市、所沢市との連携は。

☆特に協定を結んでいないが、２市１町は消防組合も一緒であり連携している。

特に富士見市とは地形的に入り組んでいて、本市の避難所の方が近いケースや逆のケースもあるので連携を図っていきます。遠隔地としては、栃木県日光市、山梨県甲斐市、長野県飯田市と協定を結んでいます。今後、群馬県安中市とも協定を結ぶ予定です。

- ◆災害時要援護者対応について。個人情報の問題があるが、市として今後どのように考えているのか。

☆自力で避難できない方々をどのように把握するのが課題であるが、どうしても個人情報保護法が壁になっている。市役所には障がい者の方の名簿などがあるが、個人情報保護法の関係で出すことはできない。しかし、何とかならない

か検討したい。また、平時の場合でも、今度新築される消防本部に導入される指令台には、高齢者などの情報を事前に入力すれば、火災発生場所の近くにそのような方がいるかどうかは瞬時にわかるシステムとなることから要援護者の情報の必要性は高まっている。現在、市の高齢化率が23%になり、2万3千人以上が65歳以上となることから、地域力をどのように高めるかが重要となる。

◆新築される消防本部前の道路拡幅の考え方や交通安全について。また、いじめの問題について市としてどの位力を入れていくのか。

☆支所の全面道路は拡幅し、交差点に右折レーンを設けます。また、両方向が渋滞した場合、現在の車幅でも真ん中を開ければ走行ができます。さらに、消防車などが出動する時には、消防隊員が出て誘導します。また、歩行者の安全対策にも万全を期したい。

いじめの問題については、大津市の事件を受けて教育委員会がアンケート調査を実施している。市として教育委員会へはもっと強く取り組むように言っている。また、実態を明らかにするように教育委員会に対しては言っています。しかし、教育委員会や市だけではなく地域の人たちの力も必要で、子供たちは自分を小さい時から知っている地域の大人に悪さをしているところを見られることを恐れる習性がある。地域で子供たちを見守ってほしい。また、教育委員会に対しては子供たちのちょっとしたシグナルも見落とさないように言っています。

◆子供も大人も、地域での朝の挨拶が絆の第一歩。挨拶は自分の心を開くことであり、励行した方がよい。

☆私もそのように思います。